

現代映画の 臨没点

シンクホール

堀江実ドキュメンタリー映画特集

MINORU HORIE

4/22.23.24

at CINEMA HOUSE OTSUKA

【Organizer】 ATOMIC FILM 【Producer】 YUUDAI YOSHIINO 【Director】 MINORU HORIE 【PosterDesign】 KENKO ITO

柳町光男と長谷川和彦 両監督から薫陶を受けた堀江実の「現事実を視る」
孤高の映画監督の歩みを辿る特集上映がついに開催!

A『首くくり栲象の庭』

◎出演：首くくり栲象 音楽：藤田陽介 監督・撮影・編集：堀江実

※2016 年 /HD/B&W/ スタンダード /73 分

C『黒沢美香&ダンサーズ 稽古ドキュメント 2017 後篇』

クラシックはもちろん『戦場にかける橋』などの映画音楽や

さてまたロックンロールまでが鳴り響く怒涛のドキュメント・ミュージカル。

◎出演：黒沢美香&ダンサーズ 振付：黒沢美香 監督・撮影・編集：堀江実

※前篇 2018 年 /HD/ カラー /16:9/136 分

※後篇 2018 年 /HD/ カラー /16:9/145 分

D 『Kと流刑地』

◆1973年11月、前衛芸術家・風倉匠は網走へと移住しフランツ・カフカの小説『流刑地にて』の映画化を試みる。

首く、つまり樗牛の師であり、日本のハプニング・アーティストの先駆者でもあった風倉匠が、なぜこの時代に映画を作ろうとしたのか、そして、なぜ完成させることができなかったのか。

当時を知る者たちへのインタビューや、数多のテキストを頼りに、彼の思考と実像、そして戦後史をめぐる旅が、2018年3月、首くくり拷問の死とともににはじまる。

◎インタビュー出演：菅章 鈴木一民 大井恒行 遠藤昭

音楽：クリストフ・シャルル インタビュー撮影：川瀬友貴 監督・風景撮影・編集：堀江実

※2019 年 /HD/ カラー /16:9/89 分

E 『The Making of サマースプリング』

◆即興演奏家・吉田アミの自伝的小説『サマースプリング』の舞台化へと向けられた眼差し。

平成元年、中学一年生の吉田アミが体験した「地獄」が、いま、この眼前で再現される。現実の彼女と、過去の彼女とが対峙し火花を散らす。平成の終わりに進った死闘の記録。

◎出演：吉田アミ 立川貴一 大谷能生 監督・撮影・編集：堀江実

※2019 年 /HD/ カラー /16・9/134 分

●主催 ATOMIC FILM

●予約受付 info@atomicfilm.net

【料金】 予約:¥1000(税込) 当日:¥1300(税込)

＜整理番号制・各回入替制＞

タイムテーブル					
4月22日(金)		4月23日(土)		4月24日(日)	
10:30	B	10:30	A	10:30	A
13:00	C	12:00	D	12:00	D
16:00	A	14:00	B	14:00	E
17:30	D	16:30	C	16:30	B
19:20	E	19:20	E	19:00	C



【堀江実・プロフィール】

1980年東京生まれ。高校時代より映画を志し、大学在学中は映画監督・柳町光男に学ぶ。

2003年、長谷川利彦の助監督候補に選出、以降数年に渡って劇映画『連合赤軍』の脚本執筆に参加。

20代半ばより本格的に映画制作を開始し、初監督作品『熊になる』(2008)、自ら出演も果たした『みずち』(2013)、

初ドキュメンタリー作品『首くり栲象の庭』(2016)などを発表。近年は個人映画のスタイルに傾斜し、

劇映画から記録映画まで横断的に活動している。(公式サイト <http://minoruhorie.com/>)